

# ODAWA DANCE

The 3rd **REGULAR**  
**CONCERT**

# 日本現代合唱曲シリーズ

各30cmステレオ ¥2,000

●石井 歓作品集

**枯木と太陽の歌**

枯木は独りて歌う／花と太陽の会話／冬の夜の木枯しの合唱／枯木は太陽に祈る

**五つの学生の歌**

かちどき／雨の日曜日／間奏曲／高原にて

福永陽一郎指揮 日本アカデミー合唱団  
(ピアノ)三浦洋一

TA-8001



●三善 晃・大中 恩作品集

**三つの抒情** (三善 晃)

或る風に寄せて／北の海／ふるさとの夜に寄す

**麦藁帽子** (三善 晃)

愛の風船 (大中 恩)

音楽会のおと／風のなかのあなたとわたし／沈黙のしあわせ／母のように／ことばで／すてきなもの／風船屋さんになりたいわ

“新しいことばのうた”より (大中 恩)

クジャク／クレヨンちゃん／赤ちゃん自態／おにわのうた

福永陽一郎指揮 中国短期大学フラウエンコー

(ピアノ)三浦洋一  
TA-8002

●高田三郎作品集

**水のいのち**

雨／水なまり／川／海／海よ

**心の四季**

風が／みすまし／流れ／山が／愛そして

福永陽一郎指揮 日本アカデミー合唱団

(ピアノ)三浦洋一  
TA-8003

●中田喜直作品集

**都会／蝶**

**混声合唱とピアノのための組曲「都会」**

星／ふりむく／若者たちよ／子守唄／都会

**女声合唱曲「アダムとイヴ」**

誕生／飛翔／灰色の雨／越冬／よみがえる光

福永陽一郎指揮 日本アカデミー合唱団

中国短期大学フラウエンコー

(ピアノ)三浦洋一

TA-8004

●大中 恩・助川敏弥作品集

**混声合唱曲「島よ」** (大中 恩)

**混声合唱のための組曲「白い世界」** (助川敏弥)

雪原／米紋薙／冬山／流水／冬を送る

福永陽一郎指揮 日本アカデミー合唱団

(ピアノ)三浦洋一

TA-8005



●團 伊玖磨作品集

**岬の墓**

**混声合唱組曲「岬の墓」**

**混声合唱曲「二つの碑銘」**

遠き日の／七里浜

みなかみ／ダムにて／銀の魚／川の祭／河口

福永陽一郎指揮 日本アカデミー合唱団

(ピアノ)三浦洋一

TA-8014

●多田武彦作品集

**柳河風俗詩** (北原白秋詩)

柳河／紺屋のおろく／かきつばた／梅雨の晴れ間

**中 勸助の詩から**

絵日傘／椿／四十雀／ほほじろの声／かもめ／ふり売り／退羽根

富士山 (草野心平作)

作品第壹章／作品第肆章／作品第陸章／作品第捌章

福永陽一郎指揮 日本アカデミー合唱団

(テノール)五十嵐善芳

TA-8023

●湯山 昭作品集

**葡萄の歌**

(女声合唱とピアノのための組曲) 月にはなしかける／みすの流れの歌を／林にて／蟹／葡萄の歌／宝石

**月曜日とわたし**

女声合唱曲集

月曜日とわたし／北風はつめたなけいれど／牛かひとつの唄／小鳥よどこ／あの日の村／春になつたら／小さなパレード／海にむかっ

て／貝のうた／チラスの夏／レモンと海／あなたに逢うとき／りんどうのさく徑／十月のプログラム／青い流れの歌

近藤安介指揮

中国短期大学フラウエンコー

(ピアノ)三浦洋一

TA-8011



●大中 恩作品集

**海の若者**

**ピアノ伴奏による五つのうた**

海の若者／秋の女／花留／沼／別れの唄

無伴奏の四つのうた

わたどり／そよ風／別れみち／花のある社

**風と花弁**

風の牧場／風の歌

五つのことばのうた

バス之歌／サッチャン／おとなママ／チ／く

もさん／バナナを食べる時の歌

祝婚歌

福永陽一郎指揮 日本アカデミー合唱団

(ピアノ)三浦洋一

TA-8027

●清水 脩作品集

**月光とピエロ**

月光／秋のピエロ／ピエロ／ピエロの嘆き

月光とピエロとピエレットの唐草模様

普香天子—「青い照明」より

朔太郎の四つの詩

五月の真火子／孤独／陽春／緑色の笛

しろい火の姿

—「大手術次の三つの詩」より

無宿者の歌

—「三つの俗歌」より

福永陽一郎指揮 日本アカデミー合唱団

(ピアノ)三浦洋一

TA-8034



日本現代作曲家シリーズ

●清水 脩

**合唱組曲「山に祈る」**

**智恵子抄～或る夜の夜のことろ**

**智恵子抄～巻末のうた六首**

清水 脩指揮 二期会合唱団

東京フィルハーモニー管弦楽団

東京リコーダー・タワーフェル

(朗読)加藤道子 (ピアノ)三浦洋一

TA-8008



東芝レコード  
発売元 東芝EMI株式会社





# 小田原男声合唱団 第3回定期演奏会

1974年7月6日(土)6:30PM

小田原市民会館大ホール

後援

小田原教育委員会

神奈川県合唱連盟

小田原地区合唱連盟



## ごあいさつ

小田原男声合唱団代表者

### 輿石昭次

本日は、ようこそいらっしゃいました。

小田原男声合唱団も今年で早や3回目の定演を向かえ団員一同はりきっております。

一昨年と関東代表として全国大会に参加、全国各地より選びぬかれた代表と共に、合唱をきそい、合唱団発足いらい、わずか、2年で銅賞を得るまでに成長いたしました。これも偏えに皆様からの声援があればこそと考えております。

この広い日本の中に、男声合唱団が現在どれくらいあると皆様はお考えですか。

ついこの前まで、合唱団といえば男声合唱と考えられておりました。これが現在では、活動は以前にくらべみる影もないといってもよいほどの変りよう。まことに、我々、合唱を愛する者として残念でなりません。

そんな仲間が、昭和46年11月2日に、超一流指揮者であられる福永陽一郎先生をお迎えして、この地小田原に発足したわけです。当時、団員数もわずか、30余名であったが、県内いたる所より入団者があつまり、現在では60余名の団員を数える大合唱団に成長いたしました。

今夜演奏される曲目は、我々合唱団のレパトリーの一部にすぎませんが、まだまだ、男声合唱曲の名曲が数多くある中で、あれもやりたい、これも……とよくばってばかりいるしるしいです。

さいごにおねがいですが、皆様の素直な御意見を我々合唱団発展のため、お聞かせ下されるとありがたいと思います。

本日は、どうぞ御ゆっくり御鑑賞下さい。

## 全日本合唱連盟理事長 「枯木と太陽の歌」の作曲者

石井 敏

その頃、私は、人間という生きものは、人生が順調に運んでいる時、その瞬間的状态にまどわされて、一個の驕傲な動物に化してしまふ弱さをもっている。といったことを痛切に感じていたことがあった。そこで、人間の強さを、孤独な人間が、たった一人で、人生のはげしさにたえてゆく姿を男声で表わしたかったのであった。このことは、謙虚に生きている人々、総てに理解してもらえらるであらう自信もあった。

創作の手順として、私の主張したいイメージで、あらかじめ作曲を進め、ピアノスケッチが完成してから、私と同じ気持をもっていてくれる、わが友中田君をお願いしてある時は、曲を訂正し、詩を直しながら作り上げていった作品である。最近、ドイツの合唱団も、ショット出版社から出ている枯木……のドイツ語、英語版で歌ってくれ、ドイツ語版のレコードも聞いたが、国境を越えて、若い人々に歌っていただけたのは、本当に有難いことだと感謝している。

小田原男声合唱団が発足してから二年半の歳月が流れ、第三回定期演奏会が、本市市民会館で盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

さて合唱団の皆様には興石代表者を中心に、また福永先生の指揮のもとで、よくまとまり、普通の合唱曲はもちろん、むずかしいミサ曲なども消化レッスンされ、美しいらべをこの演奏会で発表されますことは、日頃から練習された成果のたまものと感じ、心から敬意を表する次第であります。

小田原には少年少女合唱隊、混声合唱団、その他数種の合唱団がありますが、つい最近新たに婦人だけの合唱団であるコール・めんどりも発足し、いよいよ合唱団体盛況といったところであります。

どうか、小田原男声合唱団におかれましては、男性だけの合唱として、その個性豊かな味を市民の皆様にお聞かせ願ひまして、この演奏会が成功裡に終ることと、ともに今後の御発展を祈って祝辞いたします。

小田原男声は、その出生から、大きな驚だったのだ。三年を経ずしてもう、大空にはばたいている。

現在、この世は人間にとって、また音楽を愛するものにとって、むずかしい状態になっている。特に男達にとってはである。合唱を続けようということ、そして、男声合唱の後継者を育てて行こうとするのは、至難の業になりつつある。それでも真から男声合唱を愛する者達、我々にとっては、輝かしい未来がこれからもあることを信じている。

一昨年、全国の主だった男声合唱団六団体が集って、男声合唱の振興をはかるため、日本男声合唱協会（JAMCA）を設立した。そして関東の新しい星「小田原男声」にも、本年から加盟していただいた。新しく素晴らしい友を得て、我々も一層、日本のそして世界の男声合唱のために力を注いで行こう。

小田原男声の第三回のプログラムは正に驚嘆に値する素晴らしきである。騎将福永陽一郎氏の指揮棒一閃、男声合唱の真隨が展開されることであらう。燃えて燃えて歌って欲しい。その炎が日本全国に広がる様に、我々もたいまつを掲げます。では、第二回日本男声合唱協会演奏会、来年1月、名古屋でお会い出来るのを、楽しみに。

日本男声合唱協会幹事  
東海メーラルクワイアー  
都築義高



小田原男声合唱団常任指揮者

## 福永陽一郎

東京音楽学校（現芸大）本科ピアノ科出身。井口基成、豊増昇にピアノを、近衛秀麿に作曲、指揮、管絃楽法を、M・グルリットにオペラ指揮法を師事。1956年から9年間藤原歌劇団の常任指揮者として活躍し、「椿姫」「カルメン」「セビリアの理髪師」「トスカ」「蝶々夫人」等、数多くの公演を指揮している。日本初演のオペラ指揮も多く、日本のオペラ界に貢献した業績は内外に高く評価されている。

合唱音楽への造詣も深く、二期会合唱団、日本合唱協会への出演や、東京放送合唱団とは演奏会のほか放送も数多い。アマチュア・コーラスに対する理解と情熱も深く、小田原男声合唱団以外にも、法政大学、同志社大学の常任指揮者であるほか、客演指揮、講師、審査員として合唱音楽向上のため、日本各地で精力的に活躍している。また合唱用の編曲も数

百曲におよび、東芝レコードなどから数多くのレコードを出版している。昨年是小田原労音の招きで「ベートーベン・第九」を演奏し、小田原市民ともなじみが深い。

### 3 という数字

#### 福永陽一郎

「石の上にも3年」とか、「3度目の正直」といいます。たゆまぬ努力をすれば、1度や2度、失敗しても3度目にはとこのことでしょう。1年目にも2年目も咲かなかった花が、3年目には開くということなのでしょう。しかし、私は経験上、合唱団の3年目はえてして危機であるといきすぎた小田原男声ではゆかなかったのです。1年目も2年目もうまくいった、うまくせんが、どうやらその心配も杞憂に終りそうな様子です。小田原男声の団員諸氏の人間のたしかさは、これは稀有のものだと、常々、感じいています。ホフマンシチュアールは「薪が燃えるのは、燃える材質を含んでいるからだ——」と言いました。小さな火種にしか過ぎない私にしてみれば、この“薪”は実に素晴らしい木々です。

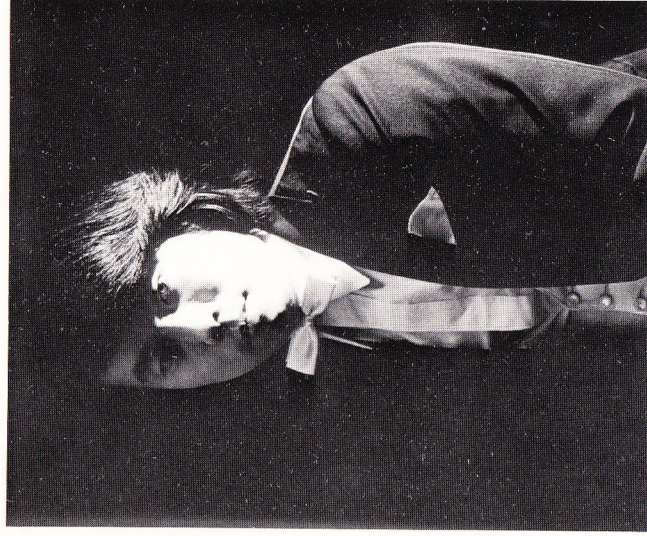
3年目になって、小田原男声はレールの上を走っています。この“車”とはすなわち各自のなだという自覚を失って、“走っている車”に乗ろうとすると一人でもいたら大変ですが、そんな虞をほのめかしたたら、すべての団員の自尊心に傷がつくでしょう。このような団員と共にあって、私は幸運です。

(1974年6月)

小田原男声合唱団 ヴォイストレーナー

## 大久保昭男

昭和28年東京芸術大学音楽部声楽科を卒業。矢田部勤吉氏に師事。近衛秀麿指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕筰指揮、オペラ「黒船」、ドヴォルザークのオペラ「ルサルク」等にも出演。昭和34年には、ドイツリード、日本歌曲による第1回リサイタルを開き好評を博した。現在、東京の松原混声合唱団、地元の湘南市民コール、京都では同志社大学グリーククラブのヴォイストレーナーと全国を精力的に活動し、日本の合唱音楽の向上に貢献している。大久保先生の実力を裏付けるものとしておもしろいエピソードがあるので皆さんに御紹介しておきましょう。今年の5月の月上旬に福永陽一郎先生が同志社大学をつれてアメリカのニューヨーク、リンカーンセンターで開催された世界大学合唱祭に参加されましたが、世界各国の指揮者の話題に登ったのは、大久保先生指導による同志社大学の発声があまりに素晴らしいということでした。今や大久保先生のヴォイストレーナーとしての実力は世界的な名声を得ているといえるでしょう。



## 伴奏者 久邇之宣

昭和47年国立音楽大学ピアノ科卒業。クロイツァー一豊子に師事。二期会研究生。東京室内歌劇場などでピアノニストをつとめる。フエリス女学院音楽大学でピアノニストの新進として活躍中。ごく最近の演奏では5月28日、東京文化会館において「R. シュトラウス歌曲の夕べ 曾我栄子独唱会」の伴奏、をつとめたが、朝日新聞の評論でも「清潔な音色と柔軟な音楽性を持ち、今後に期待を抱かせた」と高い評価を受けていた。

小田原男声合唱団の第26回全日本合唱コンクール全国大会（岡山）で銅賞受賞の栄誉を受けたのも彼の伴奏の功績に負うところが大きい。

プログラム

1. 聖・チェチリアのミサ

キリエ

グロリア

クレード

ゲノール  
福永陽一郎 作曲  
編曲

2. 柳河風俗詩

I 柳河

II 紺屋のおろく

III かきつばた

IV 梅雨の晴れ間

北原白秋 作詩  
多田武彦 作曲

3. シューベルト男声合唱集より

1. Der Gondelfahrer

2. Nachthelle

3. Nachtgesang im Walde

4. Sea Chanty より

1. Sailing sailing
2. Lowlands
3. A—Roving
4. Shenandoah

ロジエー・ワグナ 編曲

5. 枯木と太陽の歌

- I 枯木は独りで唱う
- II 花と太陽の会話
- III 冬の夜の本枯しの合唱
- IV 枯木は太陽に祈る

中 田 浩一郎 作詞

石 井 敏 作曲

## 曲目解説

### 荘厳ミサ曲「サン・セシール」

あの華麗なグラランド・オペラ「ファウスト」の作曲者であるシャルル・グノー（1818—1893）の本来の創作分野である宗教曲・合唱作品については、小田原男声がその第一回演奏会で、男声合唱のためのミサ曲としては最高傑作のひとつとしてあげられる「第二ミサ曲・ト長調“オルフェオニスト”」を部分的に演奏したときに、かなりくわしく述べた。その作風を要約すると、『官能と神秘という二元的な指向の融合』である。グノーの宗教音楽としての大作は、三部作「贖罪」、三部作「死者をよみがえらせる者」、「ジャンヌ・ダルク・ミサ」などがあり、宗教的信仰と劇的好情性がパロック的な形式の中に総合されていると考えられる。グノー自身もこれを「フレスコ画のスタイル」と呼んでいる。（「フレスコ画」というのは、しっくい乾かないうちに描かれる宗教的壁面のことで、色彩の味が、濃密である。）

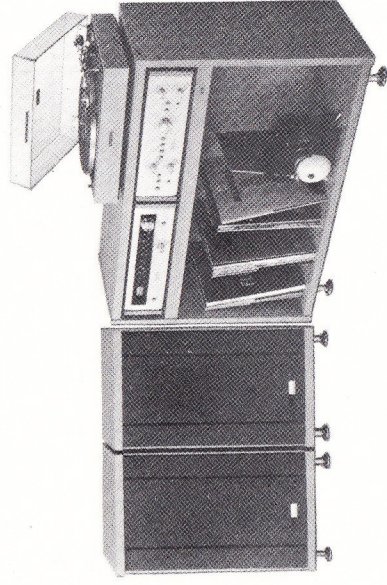
「サン・セシール」ミサ曲は、大作のうちでは比較的初期に、つまりグノーが37才の夏に作曲された。サン・セシール（ローマ・カトリック）では当然、セント・チエチリアと呼ぶ）は、伝説によれば、2・3世紀のころローマにいた処女で、キリスト教の信仰の故に迫害され殉教死したといわれている聖人である。8世紀になって、ローマのカタコンバから彼女の自作の詩が発見され、音楽を非常に愛した少女であったことがわかり、今日まで長く、セント・チエチリアは音楽の守護神とされている。その祭日は11月22日で、この日はヨーロッパ中で「聖チエチリアの日」が祝われる。この日のための音楽は、古くから数多くあり、ヘンデルの「聖チエチリアのための讃歌」はとくに有名である。

パリでは、19世紀から、古い由緒のある聖エスタシユ教会でサン・セシールのためのミサをあげ、音楽家たちのための慈善行事とするのが通例となっており、すでに200年ちかく毎年、パリ音楽院のオーケストラが演奏をつとめていることになっているし、またこの日のために、当代一流の作曲家が新しくミサ曲を作曲することも伝統的に続けられている。（横道にそれるが、ローマの国立音楽学校がサンタ・チエチリアの名を冠していることはよく知られているとおりである。）

グノーの「サン・セシール・メッセ」は1855年11月22日に聖ウスタシユ教会で初演された。グノーがこの音楽の守護神に対する敬けんな讃歌を作曲するに当って全力を費したことは容易に想像できる。このミサの初演をきいたサン・サーンズは次のように言ったという。『この音楽の出現は、一種の茫然自失ともいふべき感嘆を惹き起した。その純粹な様式、崇高な威厳、音楽がはなつ光は朝日のようであった。人々はその輝きに、最初は眩惑され、次いで魅惑され、そして最後に征服されてしまった。』原曲は、ソプラノ、テノール、バスの独唱と混声合唱、管弦楽およびオルガンのために書かれ、ミサ・ソレムニスの定型にしたがって、キリエ、グロリア、クレド、サンクトゥス、ベネディクトゥス、アニュース・デイの6章からなり、クレドのあとに管弦楽によるオッフエルトリウムが挿入されている。更にグロリアとクレドは、テキストによってそれぞれ4部分に分けられている。

## COMPONENT AUDIO SYSTEMS

アンプ、プレーヤー、スピーカーシステム、それぞれの単体性能を追求し生まれたステレオコンポーネント。プロジェクト5、プロジェクト5オート、プロジェクト3はこの高性能コンポーネントを適切なクオリティ バランスで組合せたオーディオシステム。いわばエキスパートの集合です。すぐれた性能とホワイトオート調の風格あるデザインが融合、幅広い応用性と完成度の高い音質はコンポならではのものです。



オーディオシステム  
PROJECT 5  
オーディオシステム

TX-620D	¥ 33,000
SA-620D	¥ 39,500
PL-12ED	¥ 25,600
CS-330D	¥ 75,600 (2台組)
CB-500D	¥ 20,000
組合せ価格	¥ 193,700

世界のステレオ  
**PIONEER**<sup>®</sup>

## 曲目解説

本日は、私がいふぶん以前、体調をこわしているときに男声合唱のために編曲が気に入らなくて、去年あたらしく早稲田のグリークラブのために書きあらためたものから、キリエ、グローリア、クレドの三曲をピアノ伴奏で演奏する。

### 「柳河風俗詩」

小田原男声で多田武彦をとりあげるのはこれで二度目である。多田武彦という作曲家、とくに男声合唱曲の作曲家としての多田武彦について語るとき、何よりも雄辯なのは次のようなリストであろう。一流銀行の支店長である彼のことを日曜作家と呼ぶことはたやすいが、以下のリストに見る華麗な作品歴は、日本の男声合唱界における彼の存在理由を確固として証明している。つまり、多田武彦の22曲以上にのぼる男声合唱組曲において、とりあげられた詩人は、北原白秋、草野心平、中 勘助、中原中也、伊藤 整、木下大太郎、丸山 薫、堀口大学、田中冬二などであり、来年の1月に関西学院グリーククラブによって初演される新作の詩人、尾崎喜八が以上の上に更に加わることになる。関西学院グリーククラブによって初演された組曲がもっとも多く、そのほか慶応のワグネル・ソサイエティ、同志社、京都大学、明治大学・上智大学の各グリーククラブなどが多田武彦に作曲を依頼したり初演をした団体の主なものだが、以上のロマン的あるいは抒情詩人にかざられる作詩者の表や、初演団体の表を見て、多田武彦の作品が、現在の日本のアマチュア合唱の理解度のワクを越えていないことに気づく。このことが、彼をして“前衛ばやり”の日本作曲界の中で承認を遅らせることにも、また、反対にその楽譜が売切れになったり、レコードがベスト・セラーのトップにはいたりすることの原因であることはたしかである。しかし、こうした現象とは別に、多田武彦が、今日の日本において男声合唱が書ける一人か二人の作曲家であることは、過去と現在が証明している事実なのである。

「柳河風俗詩」は多田武彦の処女作であるが、同時に代表作でもある。多田は多くの佳作を書いたが、遂に「柳河風俗詩」を上廻る曲を書いていない。組曲としてのまとまりの良さ、起承転結の見事さ、メロディーの新鮮さにおいて、たくわえられた創作欲のエネルギーが結晶し、意識的な作為がなく、音楽的に純粹であり、作曲されて20年、すこしもその魅力は失われていない。

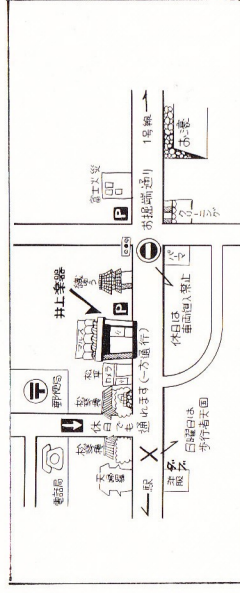
「柳河風俗詩」の第1曲は、1954年度の合唱コンクー課題曲の佳作として入選し、多田武彦は当時、大学を出たばかりのサラリーマン1年生であつたにもかかわらず、一躍、合唱音楽界の注目をあびた。そのあと北原白秋の有名な詩集「思ひ出」の中から、詩人のマンリにちなんだものから選ばれた4曲からなる組曲が完成された。初演は1955年。私は、出版されるずっと以前からこの曲を自己のレパートリーとしていたが、かつての“私の合唱団”（東京コラリアーズ）では、この組曲は同僚の北村協一のレパートリーであり、よく知っている割にはステージで指揮した回数はすくない。多田武彦とは個人的に親しい友人であるが、彼は、自作の指揮者としては、

# 7/14<sup>日</sup> sun OPEN

皆様にしたしまして発展してきました井上楽器がさらに一歩前進して、新店舗に移り新装開店いたしますことになりました。よりサービスにつとめますと共に音楽を大切にされるあなたの“ふれあい”をお待ちしております

★小田原男声合唱団の事務局も同所へ移ります。

# 井上楽器



●小田原市栄町1-13-36

TEL. 0465 (24) 0515 代

## 曲目解説

私よりも北村協一により多くの共感を持っているらしい。事実、多田作品の指揮経験に比較にならないほど北村協一のほうが多い。市販されている「柳河風俗詩」は、私のも彼のもあるが、よりセンチメンタルでリリックなのは、彼の指揮によるものだろう。小田原男声は、当分の間、日本の男声合唱曲のスタンダード・ナンバーをひととおりにレパートリーとして所有する目標を立てていて、去年の「月光とピエロ」「蛙の歌」について今年は、この「柳河風俗詩」と「枯木と太陽の歌」である。

### シューベルトの男声合唱曲

その短い一生のうちに、あらゆる分野にわたる数多くの作品を残した大天才のシューベルトは、また、男声合唱のために立派な作品を書いた大作曲家として群を抜いている。世俗合唱曲がほしい100曲あまり残っているが、そのうち70曲が男声合唱曲である。どんなに彼が男声合唱という素材を好んだかがわかる数字である。しかしシューベルトは、アマチュアとしては非常に高級な音楽仲間を持っていたので、それらの作品は、たとえば異名同音転調などを正しく処理することのできる、音楽的に訓練されたグループが当てられているため、決して「リーダー・ターフェルの」な気安さではうたいきれない。この態度は1816年頃の作とされる「春に寄せて」から、最晩年の1828年の「聖なる霊の讃歌」まで変化していない。それだけに、これをうたう合唱団に無限の芸術的な香気の高い喜びをあたえてくれる。小田原男声では12年くらい長い長期計画で、シューベルトの男声合唱曲の全曲演奏に挑戦する。

### 「ゴンドラを漕ぐ人」

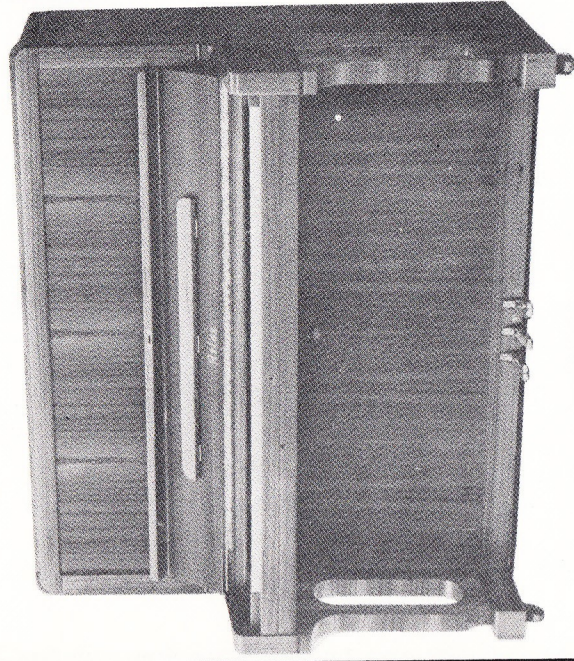
作品番号28、ドイチェ番号808のこの曲は1824年の3月頃の作曲とされている。作詞者はマイルホルファーという人。伴奏型に乗って非常に美しいメロディーが流れてゆく。ヴェニススの舟遊びをうたったものであることは言うをまたない。

このリートのような、またピアノと合唱のコンチェルトのような作品によってシューベルトは男声合唱曲の新しい境地を開いたのであった。それまでの伴奏楽器であったギターのかわりにピアノが使用され、終結部の輪唱もなく、第一テノールの音域に対する配慮は制限をうけてない。この楽曲は極度に純粹な芸術的な意図による“ゴンドリエラ・アトモスフェリーレ”であって、波のリズムと、サン・マルコ広場の夜半の鐘をひびかせるピアノに対して、合唱の役割は完全に“歌曲的”なもので、事実シューベルトは、この詩によって独唱曲を（まったく違う音楽であるが）書いているのである。

### 「夜の明るみ」

作品番号134、ドイチェ番号892、テノール独唱とピアノ伴奏を持つこの曲は、1826年の9月に作曲され、1927年の1月25日の夜に

ピアノづくりひとすじ



**A83F ¥600,000**



国立音楽大学指定工場  
**アトラスピアノ製造株式会社**  
浜松市神田町1400 TEL: 浜松0534(41)3331(代) ~ 5 ㊟430

スズキ  
**Xロディオン**



この建物のよさが伝わら  
れ、聖人持としての需要が  
急激に増加しております。

メロディオンは第3の楽楽も  
いふ事新しいメロディオンも  
えんた楽楽です。

学園指導者様も楽楽に楽楽する  
楽れた楽楽と、良いメロディオンが好評  
で、所々全国の幼稚園、小学校、  
中学校などで楽楽にも入られ  
その楽楽もあけてあります。



株式会社 **鈴木楽器製作所**  
静岡県浜松市浜東町4-4-3  
TEL: 05342-61112(2)(代)



I 枯木は独りで唱う

枯木は独りで唱う  
 枯木は独りきりで唱う  
 枯木は独りきりなのだ  
 枯木は独りきりだだよ  
 今宵の月の出に  
 夜空に向かっつて  
 心こめて唱うよ  
 生命の限り叫ぶよ  
 きれいな月の夜だ  
 悲しい祭りだ  
 大地の深い眠り覚めよ  
 枯木は思うさま唱うよ  
 地軸をふるわせ 星にもとどけと  
 枯木は すべての思いこめて  
 夜空に向っつて 唱うよ  
 神への願いだ  
 神への祈りだ  
 襲うは くらかけ  
 悪魔の 怒りだ  
 轟く かみなり  
 きらめく 光りだ  
 大地は狂うよ  
 この世の終りだ  
 天地は裂けるよ

Ha ha ha ha ha ha ha

枯木よ折れるな  
 枯木よ折れるな  
 悪魔に打ち克て  
 消え去れ くらかけ  
 枯木は独りで唱う  
 枯木は独りきりだ  
 独りで唱うだけだよ  
 ひとりで ひとりで……………

II 花と太陽の会話

Lon lon lon lon lon  
 そらごらん あの岡  
 そらごらん 野原を  
 花蘇く 萌えるよ

そらごらん あの里  
 野は光り 鳥鳴く  
 陽は昇る 大空  
 花の言葉 優しく  
 陽に向かいささやく  
 今日の恵み 悦び  
 花咲くあの岡越え  
 あの里 荷馬車は行く  
 はるかに……………  
 今日の恵み 悦び  
 花開き 唱えば  
 陽は燃え輝く  
 花咲くあの岡越え  
 あの里 荷馬車は行く  
 はるかに……………  
 晴れわたる青空  
 陽は燃え めぐるよ  
 咲く花にほほえみ  
 散る花にささやき  
 やさし愛ののぞみぞ  
 いつまでも忘れず  
 花咲くあの岡越え  
 はるかに  
 消えゆく 消えゆく……………

III 冬の夜の木枯しの合唱

黒雲ひろがる 嵐が来る  
 足をふまえて 枝葉をあげ  
 北風咲く 吹雪がくる  
 吹雪に耐え 克て 克て  
 葉っぱは落ちて 幹はやせても  
 肩を並べて 力を合わせろ  
 嵐がくる 吹雪がくる  
 北風吹き 荒れ 鳴り  
 吹き 荒れ 飛び去る……………  
 春の日 岡は暮れ  
 友と二人の思い出は  
 いまは去り  
 鐘の音のやさしく 鳴りわたる  
 夕の祈り いつの日かかえる

樹々はしおれ 青ざめて  
 声もなく  
 我が身を嘆き  
 打ちふるえ涙く  
 春の日  
 岡に聞いた鐘の音よ  
 望みを捨ててな 嵐に向かおう  
 力をふるって  
 吹雪だ 疾風だ 天地に響くよ  
 葉っぱは散つても 幹は折れても  
 力をふるって 闘い続けよ  
 北風吹く 吹雪がくる  
 吹雪に耐え 克て 克て  
 嵐が終わつて 傷つき倒れて  
 林に残ったひとつの枯木が  
 雄叫び あげるよ  
 雄叫び あげるよ……………

IV 枯木は太陽に祈る

枯木は独りで唱う  
 枯木は独りなのだ  
 独りで唱うだけだよ  
 今宵の月の出に  
 夜空に真向いて  
 ころこめて唱うよ  
 生命の限り叫ぶよ  
 きれいな月の夜だ  
 悲しい祭りだ  
 生命のかぎり  
 枯木はいつも独りだ  
 闘い疲れ果て  
 傷つく弱を  
 励ましふるって  
 枯木は思うさま 唱うよ  
 大地をふるわせ  
 のぞみを求めて  
 悲しいところをいたわり  
 <この世の平和と  
 この世の恵みこそ  
 我が願い 我がのぞみ  
 のぞみ のぞみ……………>

## パート紹介

### トップテナー (T1)

みなさん、こんばんわ。きょうは私たちトップテナーのために、このようにたくさんお集りくださりありがとうございます。

月光に照らされた相模の海を、すべるように響く笛の音のごとく、小田原城址に緑色濃く映ゆる、松の梢をふきわたる風のごとく、あるいは……ほら聞こえてくるでしょう、田んぼから、あの実強いカエルの歌のごとく。各パートの歌声に支えられて、トップテナーのメロディーが隅々まで響きわたる。何とすばらしい響き、きょうこの会場にお集りくださった方々は幸福です。

我が小田原男声のトップは、例外以外はすべて、きょうの歌のように気高い気品が顔に、体に満ちあふれる者ばかりです。気はやさしくて力持ち。これぞわがトップテナー。

友よ、同志の結束固く

赤いちょうちん忘れがたく

いざ行こう団員連れ立って!!

〈唯今、団員募集中!〉

### T1めんばあ

大塚正夫・片野孝司・近藤国男・須藤 巖・高松義明・長谷川幸雄  
藤田博孝・福井 隆・堀 清高・宮越一宏・吉田 晃

### セカンドテナー (T2)

グワッグワッグとよなるベース、ケロケロゲエーとつぶやくバリトンの上に、どしりとあぐらをかき、金切り声でケッケッケと叫ぶトップを盛り上げようと、必死にケロケロないて(鳴Or泣)いるのが、われらセカンドの雨ガエルたちである。

今にもバンクしそうなおなかをかかえたカエルから、少々餌の不気味なカエルまで、総勢15匹の寄り合い所帯であるが、練習後の水あびならぬ酒あびにに関しての団結力・実行力たるや、他の範となるべきものを備えているのである。

わか雨ガエル一家の実力を示すは、この時ゾ!

“イヤ、立ちて行かん! あの赤チョウチンめざして……”

### T2めんばあ

青野孝夫・青野正純・石橋泰三・井沼寛幸・佐藤 焯・志村 学  
須原清一・瀬戸孝則・坪井孝士・福井靖史・山本和重・加藤千雄  
佐々木 純・藤本慎治・木村敬明

### バリトン (B1)

コンパンワウ!! わたしたちバリトンは総勢16名で、いつのころからかよくな大世帯になったが今さらながら驚ろいております。自由契約・金銭トレードしたものだと言われれば雑多な人間の集まりです。しかし意外に外見を気にするものが多く、自称ダンディーなる吾人がわんざとおられる。これは、バリトンの特性と認めるところである。武骨なベースときどきどったテナーに囲まれると自然に中庸をわきまえるのかも知れません。バリトンの自慢といえれば出席率がよいことでしょう。音(?)ハモル(?)それは、このメンバーの和とされる時、いわずと知れた酒宴での活躍でしょう。メンタリティをモットーに平均寿命をいささかもさげることなく合唱の良さに恍惚となっている男子を皆さんは何と御覧あろうか。いやらしい、たのもしい何でしょう。しかし、長々と音楽の可能性について話すメンバーの顔はまさしく青年の情熱でしょう。今晚のバリトンののはつらつとした顔(声?)を見て下さい。

### B1めんばあ

熱田隆純・板橋正彦・伊東清邦・江川卓男・遠藤正昭・小沢 一  
柏木秀茂・浜口 強・松本和夫・山神秀人・皆川 誠・次田 章  
太田 勝・足利裕之・橋口 広・下村興毅

### バス (B2)

みなさん、こんにちは、またまた お会いしましたね。この数回の合唱団の中で一番ハンサムなパートはどこだと思います。(ここで舞台をじっとみわたす)

そうれごらん下さい、ベースでしょう。えっ……ちがう? そんなことあるはずがない。君も ずいぶん視力が落ちましたね、そろそろ メガネをかけてみたらどうですか。

それはそうと、この合唱の中で基礎となるパートは、ベースです。我々がいるからこそ……こんな重い責任を負って今日も歌います。

### B2めんばあ

阿部年男・井上幹雄・井上忠彦・大竹克美・加藤裕臣・興石昭次  
坂口宗夫・杉本英樹・坪谷俊昌・速水 徹・矢島隆司・渡辺誠之  
下沢 孝・佐藤有司

### 休団員

加藤治信・地村俊次・山本健一・加藤和信・可知 晃・尾登幸也  
久保田正一・鈴木 洋・床井範雄・三川秋一・鉦鹿明弘・亀井幸男  
横山一郎

# 合唱団のあゆみと.....

- S46.11.2 小田原男声合唱団発足
- 47.5.16 第1回定期演奏会
- 9月 コンクール県大会  
〔県知事賞授賞〕
- 10月 コンクール関東大会
- 11月 コンクール全国大会  
〔金賞授賞〕
- 48年1月 南足柄市成人式
- 1月 働く青少年の集い (予定)
- 3月 藤沢市民交響楽団共演  
〔アルト・ラブソデー〕
- 48年6月 第2回定期演奏会
- 10月 コンクール関東大会  
〔銀賞授賞〕
- 11月 コンクール全国大会  
〔銅賞授賞〕(岡山)
- 12月 藤沢市民交響楽団共演  
〔ベートーベン・第九〕
- 49年6月 小田原少年少女  
合唱隊賛助出演
- 12月 小田原労音第9演奏会  
市内各団体と共演
- 49年10月 コンクール関東大会  
(シード)
- 12月 「知られざる名曲演奏会」(東京)
- 50年1月 第2回日本男声合唱連合  
演奏会出演

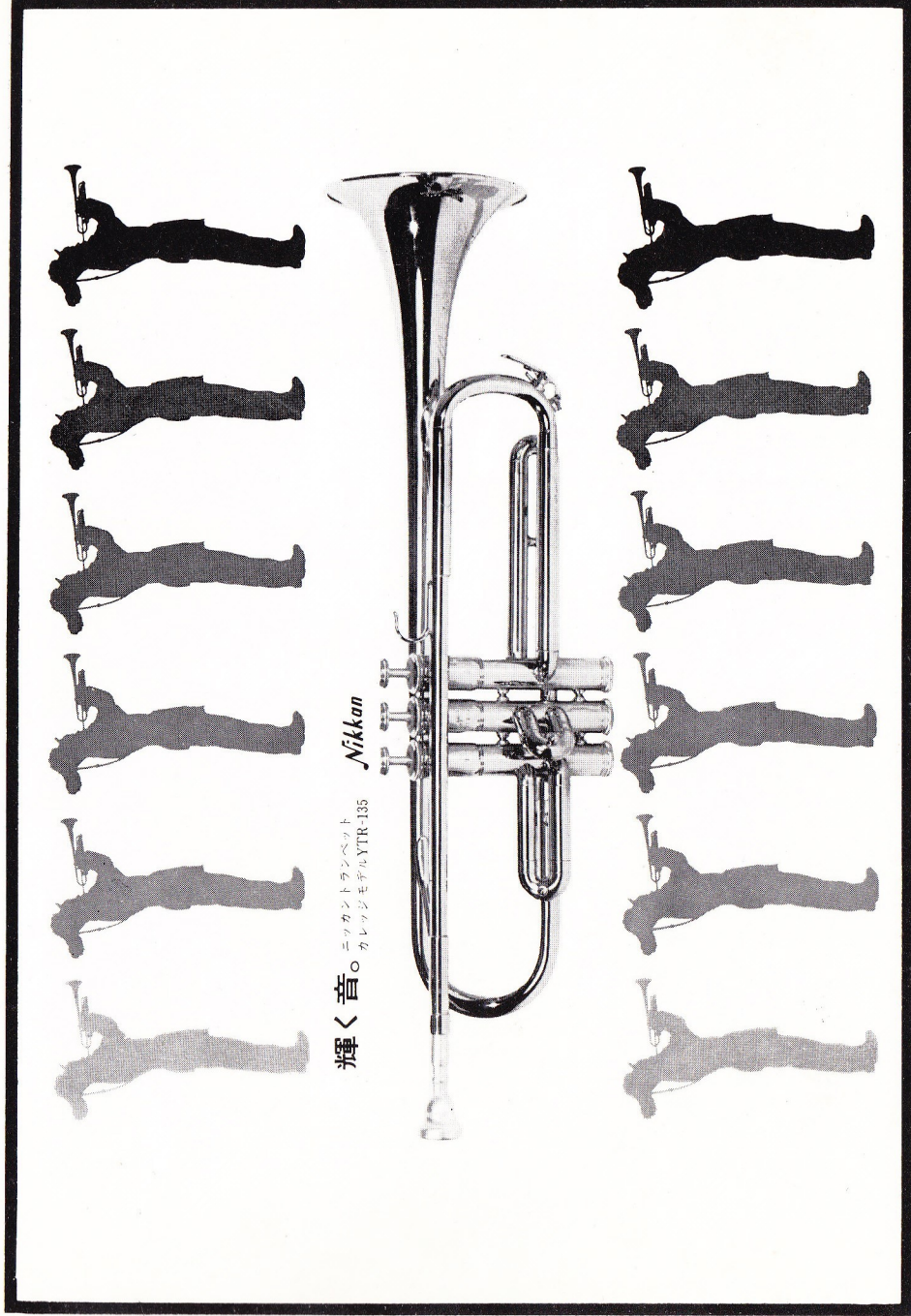
## ”74 役員

団 長 興 青 長 井 板 福  
 副 団 長 野 正 谷 川 幸 正 橋 井 隆  
 運 営 委 員 長 上 忠 彦 正 彦  
 事 務 局 長 井 上 忠 彦  
 会 計 板 橋 正 隆

### パトマネージャー

T1 近 藤 国 幸 秀 克 泰 三 薫 夫  
 T2 青 野 山 大 石 佐 塚 正 和  
 B1 山 神 竹 橋 藤 大 塚 正 和  
 B2 大 石 橋 藤 大 塚 正 和  
 広 報 佐 藤 大 塚 正 和  
 副 指 揮 者 大 塚 正 和  
 ヴォイス トレーナー 松 本 和 夫  
 パトリーター 吉 田 晃 史 茂 夫

# # # # # # # # # #



輝く音。ニッポンブランドベスト  
カレッジモデル YTR-135  
Nikken

\* 手づくりの良さと

ドイツ レンナーハンマ 6角フイヤー使用

# レスターピアノ

特約店：井上楽器

お堀ぼた通り

TEL. 0465-24-0515(代)